

初富交差点改良、事業化へ

市民が「住んで良かった」と思える鎌ヶ谷市の実現を目指している石井一美県議は6月定例県議会で登壇し、一般質問を行いました。今回の一般質問では道路問題に力を入れ、交通渋滞を招いている市内の初富交差点の改良、地域経済発展の起爆剤としても期待されている北千葉道路建設などを県執行部に質問しました。石井県議の質疑と県執行部の答弁を紹介します。

6月定例県議会一般質問



一般質問で県の施策を聞く石井一美県議

石井議員 現在、鎌ヶ谷市内では千葉県により新京成線連続立体交差事業が平成31年度全線高架化に向けて進められている。今後、踏切部での渋滞の解消が期待されているところだが、北千葉道路が将来、供用した際に、道路についての課題が数多くあると認識している。

一つの例として、初富交差点は鎌ヶ谷市の中心に位置し、国道と主要地方道とが交差する市内でも有数の交

差点だが、船橋我孫子線では右折できないことや、一部車線が大型車両が左折できないなど課題が多い交差点。平成28年6月定例会においての私の一般質問に対し、「交差点改良が必要であると認識して

おり、暫定的な右折レーンの設置について、関係機関と協議を続けてまいります」との答弁だった。

そこであがったのが、県道船橋我孫子線初富交差点の検討状況はどうか。

県土整備部長 県道船橋我孫子線は、船橋市と我孫子市を結ぶ主要幹線道路でございますが、初富交差点は、南北方向からの右折が出来ないため、交通の円滑化に向けた、交差点改良が必要であると認識しており

ます。

このため、既存用地内での暫定的な右折レーンの設置につきまして、関係機関と協議を行いながら、様々な検討を進めてきたところでございますが、既存用地内では十分な効果が得られないということが確認されました。

現在は、用地取得を行うということも含めて、より安

鎌ヶ谷中心部の交通渋滞を緩和

石井かすみ・PROFILE

略歴

- 昭和19年 鎌ヶ谷市に生まれる
- 昭和38年 千葉工商高校卒業
- 同年 有限会社石井商店勤務
- 昭和62年 鎌ヶ谷市議会議員当選(7期)
- 平成9年 鎌ヶ谷市議会議長
- 平成27年 千葉県議会議員当選

現職

- 千葉県議会 商工労働企業常任委員会委員長
- 鎌ヶ谷市野球協会会長
- 社会福祉法人理事

要望

石井議員 鎌ヶ谷市の長年の懸案である初富交差点の改良を迅速に進めていただきますよう要望する。

要望

石井議員 国道464号栗野バイパス用地取得に全力

全な交差点となるよう、検討しているところでございます。

引き続き、早期に交差点改良を実施できるよう、関係機関と協議を進めてまいります。

引き続き、地元の皆様のご理解とご協力をいただきながら、事業の推進に努めてまいります。

葉道路の計画と整合を図る必要があることから、当面、用地取得に注力してまいります。

●県政や鎌ヶ谷市のまちづくりに関する相談をお気軽にどうぞ

石井かすみ

県議事務所

〒273-0132 鎌ヶ谷市栗野153
TEL 047-443-4731
FAX

北千葉道路西側区間

地域経済活性化にも寄与 東京五輪までの事業化を



県執行部の答弁に対する再質問を行う石井一美県議

石井議員 北千葉道路についてうかがう。四者協議会での合意による成田空港機能強化に伴う交通量増加に対応するためにも、成田空港へのアクセスの整備が急務であり、ますます北千葉道路の必要性が増してきたと考える。

北千葉道路の早期整備を実現することで、首都圏とのアクセスがより便利になり、人口減少で仮に千葉県の定住人口が減少することになっても、県外や国外から人を広く呼び込むことにより、地域経済の活性化に寄与するものと思われる。

北千葉道路の市川市―鎌

ケ谷市間の沿線地域の方々には新しい道路への期待が高まっている。これらを踏まえて、現在進めている北千葉道路の事業化に向けた手続きの迅速化を図り、目標として2020年東京オリンピックパラリンピックまでに事業化していただきたく、改めてお願いする。

そこで質問するが、市川から船橋の小室インターチェンジまでの西側区間について、事業化に向けた手続きの見通しはどうか。

知事 北千葉道路は、外環道と成田空港を最短で結び、本県北西部の渋滞緩和や、防災力強化に大きな役

割を果たす道路です。この道路の西側区間については、都市計画変更と環

境アセスメントの手続きを併行して進めており、これまでに、都市計画の「構想段階評価書」及び、環境アセスメントの「計画段階環境配慮書」の手続きが終了したところです。

今後は都市計画の手続きとして、「案の概要の縦覧」や「公聴会」を経て都市計画

「環境影響評価書」をまとめまいります。

その後、県の都市計画審議会での審議を経て、都市計画を決定することとなります。県といたしましては、早期事業化に向け、手続きが円滑に進むよう、スピード感を持って取り組んでまいります。

道路ネットワーク

国道と形成検討

石井議員 北千葉道路のような周辺の道路ネットワーク

ワークに大きな影響を及ぼす高規格道路の整備には、

案」を作成するとともに、環境アセスメントについては、「環境影響評価の方法書を作成し、その方法書に沿って調査等を行い、

それにアクセスする道路の整備改良は必要不可欠。そこであうかがうが、国道464号や船橋我孫子線といった国道・県道の、北千葉道路一般部との接続や整備について、検討状況はどうか。

知事 北千葉道路の整備

効果を広く波及させるためには、国道などの主要な道路と、ネットワークを形成することが重要です。

国道464号や県道船橋我孫子線などの国道と、北千葉道路一般部との接続や整備については、道路ネットワークの形成や将来の

交通量、沿道の状況などを勘案しながら、検討しているところです。

県としては、北千葉道路と、接続する国道の円滑なアクセスが図れるよう、国や地元市、関係機関と連携して、取り組んでまいります。

大柏川第二調節池

上流側の暫定整備検討

石井議員 治水問題についてうかがう。大柏川第二調節池の整備について、現在の整備状況はどうか。また、今年度の整備予定はどうか。

県土整備部長 平成18年度から用地取得を開始し、平成30年3月末現在、必要面積17.3haのうち、15.5haを取得したところであり、取得率は89パーセントとなっております。

今年度は、残る用地取得を進めるとともに、用地取得が進んでいる調節池上流側の暫定整備に向けた検討を行う予定としております。

再質問 石井議員 大柏川第二調節池の上流では、準用河川二和川の洪水対策を鎌ヶ谷市が進めているが、市の河川改修と県の調節池整備との整合

は図られているのか。

県土整備部長 県では調節池上流側の暫定整備に向けた検討を行い、鎌ヶ谷市が行う河川改修事業の進捗と整合を図った整備を行ってまいりたいと考えております。

今後とも、市と連携を図りながら、それぞれの事業による治水効果が早期に発現できるよう鋭意努めてまいります。

学校の運動部活動

ガイドライン改定で

顧問の負担軽減期待

石井議員 教員問題についてうかがう。運動部活動顧問の負担軽減をするには、どのような対応が考え

教育長 運動部活動については、先般、県の運動部活動ガイドラインを改訂し、県立学校や市町村教育委員会に対し、適切な

活動時間や休養日の設定等を通じたところであり、これにより運動部活動の在り方の見直しを図られ、顧問の負担軽減にもつ

ながつていくものと考えています。

また、週末の大会への引率や指導が顧問の負担になっているとの指摘もあることから、県教育委員会では、今年度より国の事業を活用し、顧問の代わりに部活動指導員を配置するモデル事業を実施することとしました。

今後は、これらの取り組みの成果を検証しつつ、部活動顧問の負担軽減を進めてまいります。

活動時間や休養日の設定等を通じたところであり、これにより運動部活動の在り方の見直しを図られ、顧問の負担軽減にもつ

学校と地域が協力して部活

石井議員 学校における運動部活動と地域スポーツとの連携をどう考えるか。

教育長 本年3月にスポーツ庁が策定した運動部活動ガイドラインでは、生徒のスポーツ環境の充実のため、学校や地域の実態に応じた、総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団等との連携など、学校と地域の協

働を進めることを提言しています。

今後、少子化がさらに進展すると、学校単独での運動部活動の維持が困難になつてくることから、外部から学校に部活動指導員等を招くだけでなく、運動部活動そのものを地域と協働して行うことも、重要になってくると考えております。

要望 石井議員 教員の長時間労働の改善策に根本的に取り組んでいただくことを要望する。